

授業参観・学年懇談会 4月17日(土)

令和3年度



継承と創造

額田中学校
校長室だより

4月23日(金)
第3号

額田中学校の授業「CRS」とは

本来ならば、PTA総会、職員紹介も行う予定でしたが、新旧PTA実行委員の皆様から感染症リスク軽減の視点から助言、ご判断をいただき、本年度も書面による開催とさせていただきます。

一・二年生は授業参観、三年生は進路説明会を行いました。授業参観後は、学年ごとに広い会場を選び、感染症対策をとって学年懇談会を行いました。どの学年も多くの皆様に参加していただくことができました。



▲1年生：食堂



▲3年生：体育館（進路説明会）



▲2年生：武道場

文部科学省は、二〇〇〇年代に実現すべき、「令和の日本型教育」として、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を挙げています。「個別最適な学び」とは、一人一人の状況に合わせた指導と学び方の個性化を表した言葉です。学級内の子供たちは、得意な教科や苦手な教科は、人それぞれで違います。特定の教科内でも、例えば、数学で、計算は得意だけど図形は苦手、理科で一分野は得意だけど二分野は苦手、などのように、習得した知識や技能、興味、関心によって、学習の主体者である生徒の実態は多様です。Aさんはある学習内容についてとても詳しいが、BさんはAさんが考えていることよりも、少し手前の内容で、疑問やつまずきがあったとします。教師が黒板の前に立ち、一斉に挙手や発言を求める授業では、Aさんは自分が活躍する場を得て、活発に発言できます。しかし、Bさんはどうでしょうか。思い切って自分の疑問を投げかけたり、その前の段階で知りたいことを、躊躇なく発言したりすることができない状況が生まれてしまうかもしれません。



▲道徳のCRS（上：1年 下：2年）

額田中学校の「CRS」の授業は、小集団を核としています。教師の問いに対して、目の前の仲間に対して発言します。面と向かって話しやすい状況があれば、「私は〇〇だと思うよ」と、Aさんが言ったとしたら、Bさんは「えっ、ちよつと待って。それ、どういふこと？」と、Bさん自身の状況に合わせた問いを話しやすくなります。小集団の学習に習熟すると、「そこ、分からないから、教えて」「ここまではわかったけど、その先が知りたい」などのように、さらにBさん自身の学習状況に合った学びが行われるようになります。学級内にはいくつもこのような小集団があり、同じ授業時間内に、同時に幾つもの学びのストーリーが展開されていきます。学習内容は一つですが、学び方に個性が生まれていくのです。このように、額田中の「CRS」は、個別最適な学びを実現する有効な手立てとなっています。

二つ目の「協働的な学び」については言うまでもありません。他者の意見を聞き、自分の考えを広げ、深める。一人では解決できない問いを、皆の考えや知恵によって解決する、あるいはより良い考えに練り上げる。「CRS」の授業を行うことは、即ち、「協働的な学び」の実践でもあります。

*** 年度当初は学校・学年・学級の基盤づくり ***

級長・委員会委員長・副委員長 任命式
4月13日(火) 集会時

生徒会役員の下、令和3年度前期の額田中学校生徒会活動の核となる級長、各委員会の委員長・副委員長の任命を行いました。



●級長		13名
●委員会	委員長	16名
	副委員長	16名
	計	45名

自転車安全点検

- 4月20日(火) 3年生
- 4月21日(水) 2年生
- 4月22日(木) 1年生

自転車通学者を対象に、自転車安全点検を実施しました。車両の状況、ブレーキの利き具合、荷物積載の方法などを中心に、安全な登下校となるよう確認しました。



▲自転車点検を受ける2年生

美術科 画材の販売

4月20日(火)

登校時の時間にデザインセットの販売がありました。2・3年生の不足した画材購入の機会にもなっています。この機会を逃した場合も、購入は可能です。美術担当に申し出てください。



▲デザイン用具の販売(1年生)

部活動体験

4月20日(火)～4月22日(木)

1年生は、先週末の部活動入部希望調査を行い、これを受け、今週から部活動体験が始まりました。第一希望、第二希望と順に体験し、22日は初めて体験する部活動に参加した生徒もいました。入学生徒数が減少しています。部活動の運営に必要な人数の確保も難しくなっています。
※今年度からバレー女子の募集は行いません。



▲部活体験 ソフトテニス部